

# 国立循環器病研究センターの受診と 心臓リハビリテーションへの参加の方法

## 1. 心臓リハビリテーションの体験・参加について

- 国立循環器病研究センターでは、心臓病の患者様のどうき・息切れなどの自覚症状の改善や心臓病の再発予防をめざして、短期間の心臓リハビリテーション入院コースを設け、運動指導、食事指導、生活指導、運動療法の体験、心臓リハビリテーションの導入などを実施しています。
- 初めての方には総合検査と心臓リハビリ参加を含む2週間入院コースをお勧めしますが、運動負荷試験と心臓リハビリ体験を含む4日間または8日間入院コースもあります。
- 入院できない方は、外来でも申し込み可能です。
- 運動能力を測定し、運動処方を決めるための心肺運動負荷試験(CPX)だけを受けることもできます。
- 参加をご希望の方は国立循環器病研究センターの外来を受診していただいた上、お申し込み下さい。

## 2. 対象となる方

- 心臓リハビリテーションに参加できるのは、次の病気の患者様です。

- 1)急性心筋梗塞症
- 2)狭心症(冠動脈ステント治療後も可能)
- 3)心臓手術後
- 4)大血管手術後
- 5)慢性心不全
- 6)閉塞性動脈硬化症



- 心肺運動負荷試験(CPX)については、心臓病の有無にかかわらず受けることができます。

## 3. 国立循環器病研究センター受診までの手順

- 心臓リハビリテーションへ参加の前には国立循環器病研究センター外来受診の予約が必要です。

予約

国立循環器病研究センターは予約制になっていますので、かかりつけ医から国立循環器病研究センター医療連携室に FAX を送り、受診予約を取っていただく必要があります。当センターからかかりつけ医へ返信される診療予約通知書に予約日時が記載されています。



予約日時に、診療予約通知書と保険証を持って国立循環器病研究センターにお越し下さい。

受診

1階 ③番窓口で手続きを行って下さい



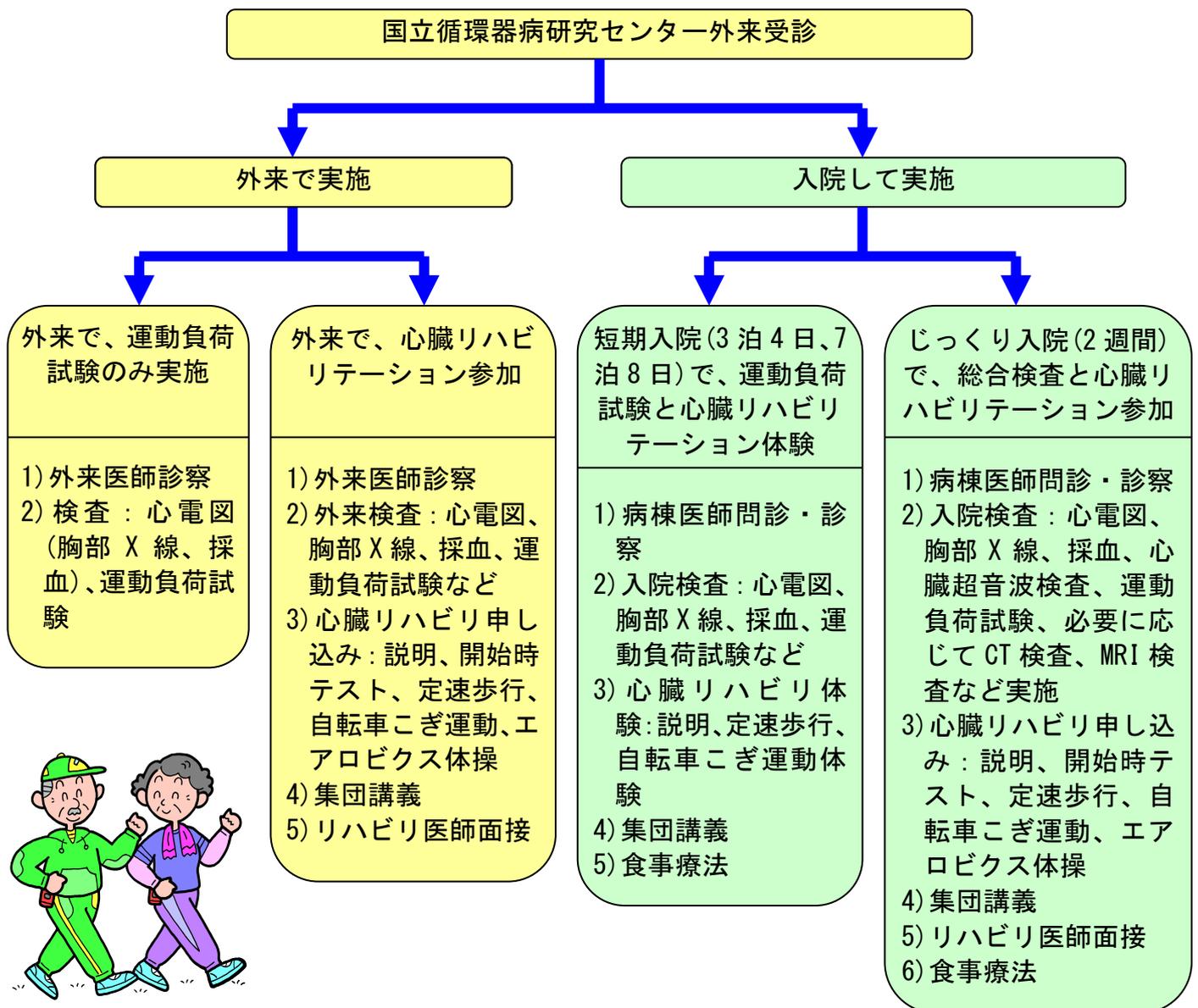
初めての方は、1階の初診外来で担当医の診察を受けていただきます。そこで、心臓リハビリテーション参加または運動負荷試験の希望と、入院・外来の希望を伝えて下さい。



- 初めて国立循環器病研究センターを受診される場合、後藤医師、野口医師、中西(道)医師の初診外来受診をお勧めします。

## 4. 受診から心臓リハビリ・運動負荷試験までの流れ

- 心臓リハビリまたは心肺運動負荷試験(CPX)をご希望の場合、外来でおこなう場合と入院しておこなう場合があります。
- 外来でおこなう場合は、入院しなくてもよいという利点がありますが、外来では実施できない検査もあり、また検査結果の説明に十分な時間をかけることができません。入院の場合には、時間と費用がかかりますが、必要に応じた検査や十分な説明を受けることができますので、初めての方には入院をお勧めします。
- 入院には、総合検査と心臓リハビリ参加を含む 2 週間コースと、運動負荷試験と心臓リハビリ体験を含む 4 日間コース・8 日間コースがあります。きちんと検査を受けて心臓リハビリに参加したい方は 2 週間コース、とりあえず体験だけしてみたい方は 4 日間コースまたは 8 日間コースがお勧めです。
- とても入院する余裕はないという方は、外来で心臓リハビリを申し込むことや、心肺運動負荷試験を受けることも可能です。外来担当医に申し出て下さい。



- ご予約のお問い合わせ：国立循環器病研究センター専門医療連携室まで  
〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 電話 06-6833-5012 (代表)